

あさひ



青指だより

第 96 号

令和 7 年度 活動記録

発行

旭区青少年指導員連絡協議会

編集

広報部会

事務局

旭区役所地域振興課

TEL:045-954-6099

旭区マスコットキャラクター あさひくん

6月1日 開催！

救急法実技講習会

救急法実技講習会が旭区役所の会議室で行われ、各地区より、新任と再任あわせ 25 名の青少年指導員が受講しました。

前半は、旭消防団の応急手当指導員から、倒れている人に直面した時に救急車が来るまでの行動を学びました。

後半は、旭消防署員と消防団員の指導で、蘇生練習用人形を用いて、心肺蘇生法と A E D の取り扱い、気道異物の除去法、止血法の実技を行いました。実技の当初は当惑する場面も見られましたが、回数を重ねると、大きな声での呼びかけ、手際よく行動できるようになりました。

横浜市では救急車が到着するまで、平均 9～10 分かかるそうです。

講習会への参加により、地域、職場、家庭などで突然、起こり得る救命に備え、救急法を実践して身に着けることの重要性がわかりました。



旭区青少年指導員研修会

講演会 「青少年が巻き込まれやすい犯罪・トラブル」

旭警察署生活安全課係長の中澤健児氏と弁護士の飯田学史氏をお招きして、講演をいただきました。多発する青少年犯罪や詐欺・強盗事件へ加担させられるケース、売買契約をめぐる高額請求トラブルについて、事例を交え、犯罪防止や被害から遠ざけるためのヒントが紹介されました。

中澤係長からは、青少年の巻き込まれやすい犯罪である匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）による特殊詐欺、強盗、窃盗などの説明がありました。SNS など通じ個人情報を握られ実行役として闇バイトに誘い込む手口が横行しています。防犯・見守り活動や相談を受けた時、家族にも被害が及ぶのだと伝え、取り返しのつかない結末を想像させることが加担防止のポイントとご教示いただきました。

飯田弁護士からは、売買トラブルとその対策について、キャッチセールスに遭遇したら「嫌だ！」とはっきり言うよう青少年に伝えてほしいとアドバイスがありました。また、ワンクリック詐欺にあった場合は、消費生活センターの電話「188」や、法テラス（弁護士相談）への連絡が解決の糸口になるとのことでした。青少年犯罪や被害の防止につなげるには、相談力を磨く大切さを学べた研修でした。



永年勤続者顕彰式

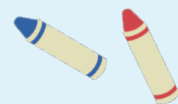
旭区の青少年指導員として 5 年の勤続者に、感謝状の授与式が執り行われました。今年度の対象者は 21 名で、旭区青少年指導員連絡協議会の湯田達彦会長、権藤由紀子旭区長より感謝状が手渡されました。主催者を代表し湯田会長からは「青少年指導員の協力がなければ、子ども写真大会、夏まつりなどの地域活動は止まってしまう。勤続 10 年へ向け活発に活躍してほしい」と挨拶がありました。

権藤区長からは「青少年指導員としてのお勤めが地域に加え、皆様自身にとっても益のある、やってよかったと思う活動にして頂きたい。区役所も見直すべきところがあれば、精一杯見直すことをお誓い申し上げる」と全面支援の意向が示されました。





旭区こども写生大会



晴天に恵まれとても暑かった6月21日(土)。
よこはま動物園ズーラシアで恒例の旭区こども写生大会が開催されました。
ズーラシアへは、車、バス、送ってもらって歩いて。それぞれの手段でやってきます。事前申し込みではないので、写生大会をめがけてやってくる人ばかりではありません。入口ゲートに向かう人にあらためて参加を呼びかけました。おかげで園内に入ってから直接申し込みも含め、277人の参加がありました。

参加者は、画板、画用紙、クレパスを受け取り、ゾウやオカピなどをめがけて園内に散っていききました。「シロクマの赤ちゃんの公開が午前のみ」ということで、先にその列に並んだ方もいたようでした。

暑さを上手にしのぎながら、各自のペースに合わせて、作品を仕上げていきます。出来上がった作品は、後日区役所で展示するため、スキャンしてもらってから持ち帰ります。最後に記念撮影パシャリ☆楽しい一日も終了です。

広い園内で活動していた青少年指導員たちも、持参した飲料以外にも買い足したりしながら、水分補給に気をつけた一日でした。



これからの主な 行事予定

- ◆ 旭ふれあい区民まつり (竹細工教室) 10月19日 日 旭区役所周辺
- ◆ 旭区親子 野外自然体験活動 11月1日 土 こども自然公園、
11月29日 土 同青少年野外活動センター
- ◆ 旭区大なわとび大会 1月31日 土 旧若葉台西中学校